

図1 コネキシン26ギャップ結合チャネルの全体構造とその成り立ち 左から順にコネキシン単量体、6量体、ギャップ結合チャネルのリボン図を示す。

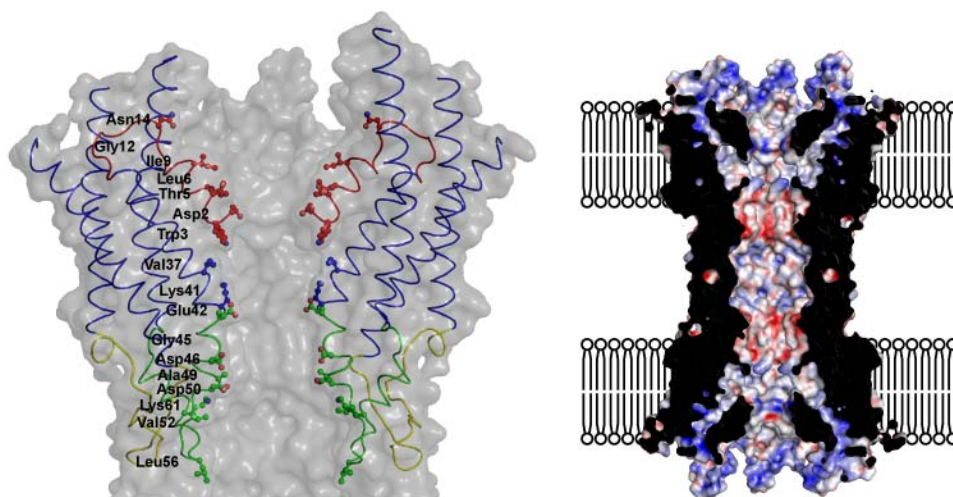


図2 ギャップ結合チャネルの孔構造 左図はチャネル孔を構成するアミノ酸残基を示したもの。右図はチャネルの表面電荷を表したもの。

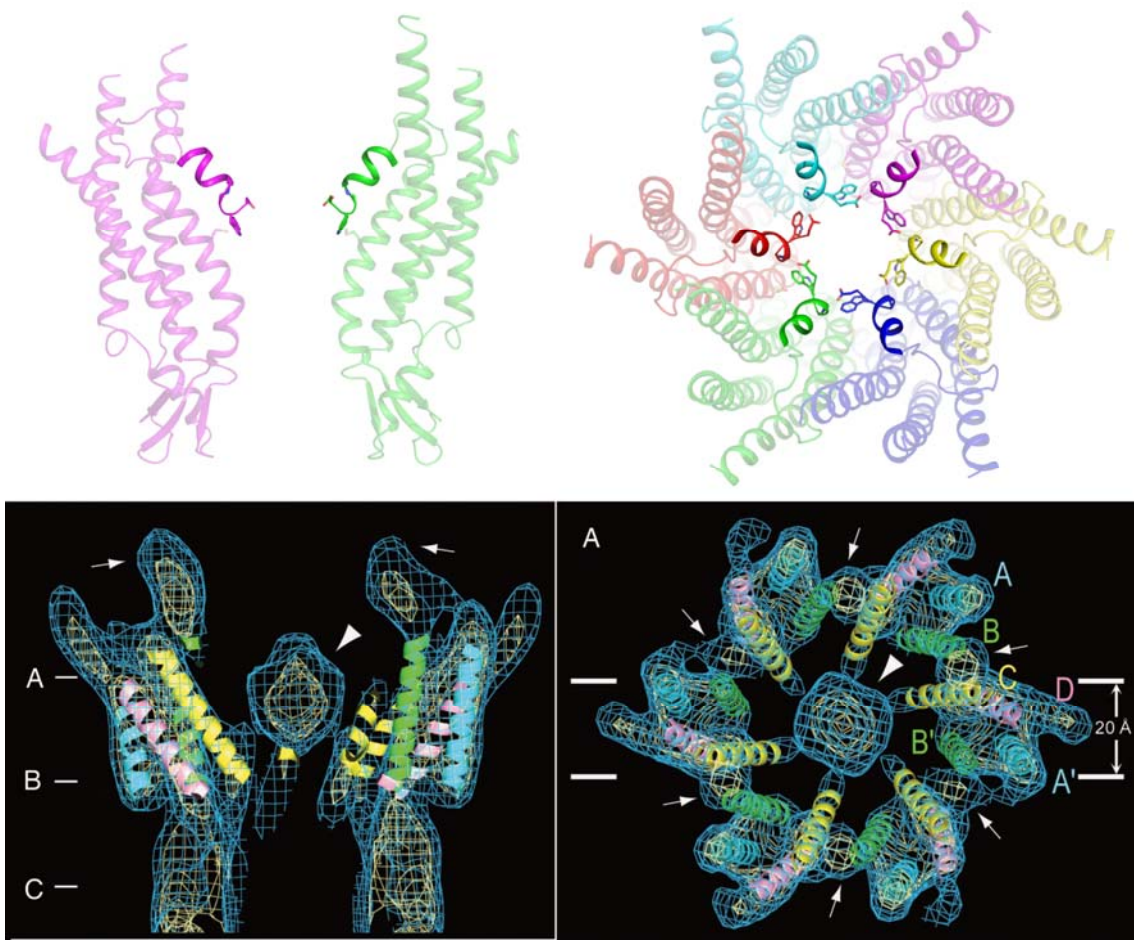


図3 ギャップ結合チャンネルの開状態（上）と閉状態（下）との比較 開状態ではチャンネルの孔を塞ぐような構造体は見られない。一方、閉状態ではチャンネルの孔の上部に大きな塊が見られる。下図はA. Oshima, *et al*, Proc. Natl. Acad. Sci. USA, (2007)より引用。